

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産個数(千個)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)
エネルギー 起源CO ₂	1.935	1.703 -12.0	1.589 17.9	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.935	1.703 -12.0	1.589 17.9	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 k1)	0.695	0.620 -10.7	0.7119 -2.5	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	令和2年度と令和3年度を比べると、エネルギー起源CO ₂ は、1.574(R2)⇒1.589(R3)前年比1.00%増加した {CO ₂ 量：11,091t-CO ₂ (R2)⇒10,333t-CO ₂ (R3)、生産量：7,048 mil(R2)⇒6,501 mil(R3)}減少した。 要因として①CO ₂ 発生量は、昨年比(R2⇒R3)6.8%減少した。②生産数量は、昨年比(R2⇒R3)7.8%減少した。①～②より、CO ₂ 発生量と生産数はともに昨年より減少したが、CO ₂ の減少割合は生産量の減少割合より少なかった。結果、エネルギー起源CO ₂ は昨年比1%増加した。 また、エネルギー消費原単位 (原油換算k1) は、0.6813(R2)⇒0.7119(R3)と増加しているが、CO ₂ 量：11,091t-CO ₂ (R2)⇒10,332t-CO ₂ (R3)へ減少している。この要因は中国電力の基礎排出係数の変化0.000561(R2)⇒0.000531(R3)t-CO ₂ /kWhに因ると推測する。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気の使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	電気の使用量を対前年比 原単位1%削減 令和3年実績：対前年比19.8%減少 ・水銀灯からLED照明へ(5/10台済み) ・個別照明順次更新(30/100台済み)	冷暖房装置の適正管理 高効率照明器具への更新 省エネ型電気機器への更新 休憩時間の消灯の徹底 水銀灯からLED照明へ(10台予定) 個別照明順次更新(100台予定)
2	ガス使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	ガス使用量を対前年比 原単位1%削減 令和3年実績：対前年比1.1%増加 ・リジェネバーナー化(3/11台済み)	素材保持炉のリジェネバーナー化(11台予定)
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組 (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。